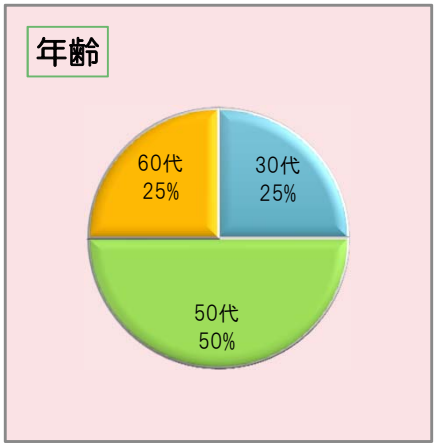
道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

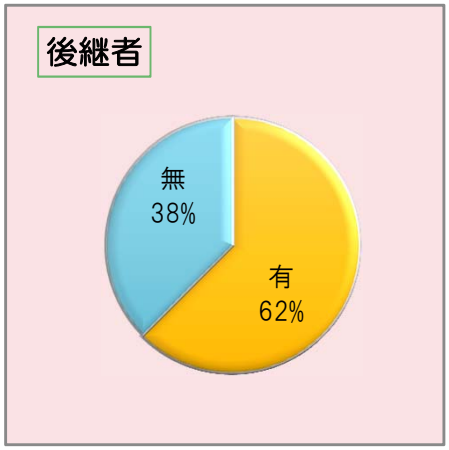
事業名	地区名	市町村	受益面積	受益戸数	採択年度	工期
畑地帯総合整備事業	東網走	網走市	347.3ha	27戸	H18	H18～H24

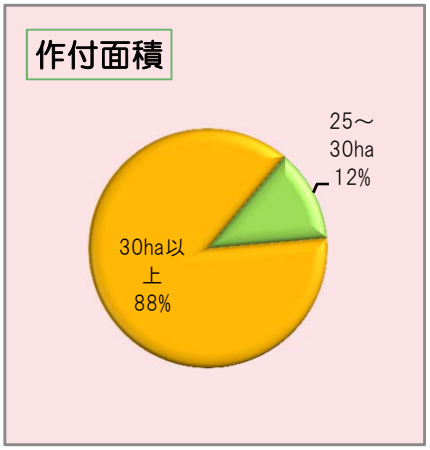
工事内容			
土層改良			暗渠排水
客土	心土破砕	土壌改良	229.3ha
203.3ha	126.5ha	51.4ha	

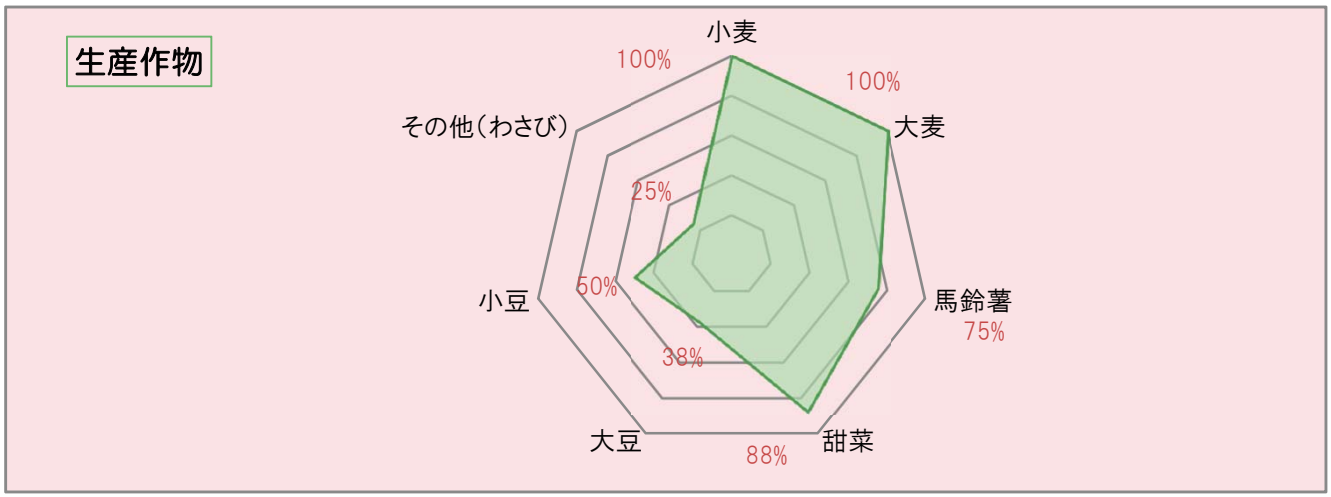
■アンケート回収率：９／２７　＝３３．３％

Ⅰ　基本事項









■年齢：50代以上が75%と高齢化傾向。

■後継者：62%が後継者有り。

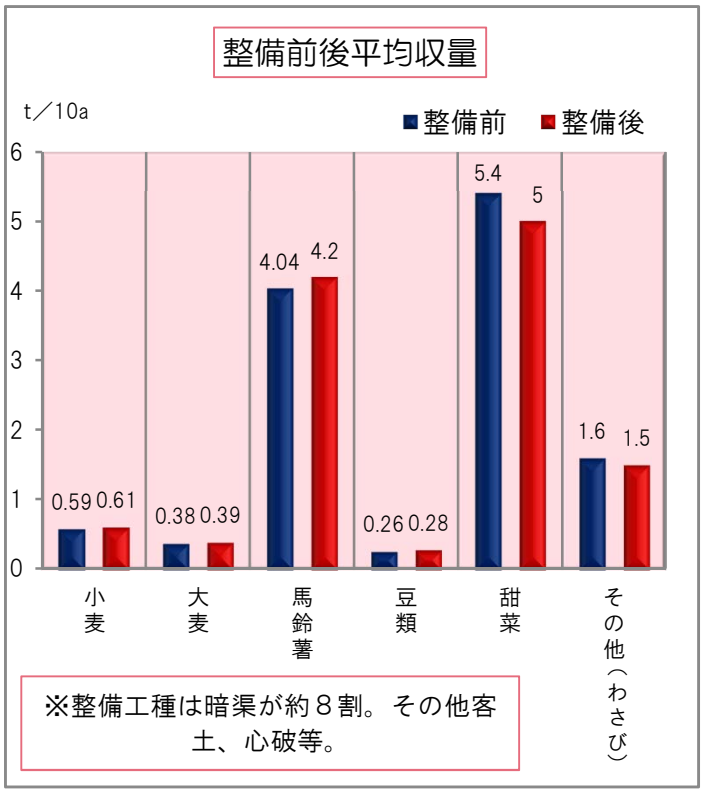
■作付面積：30ha以上が約9割。

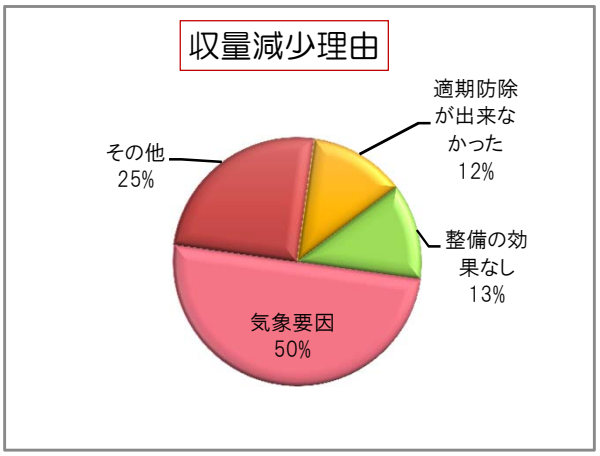
■生産作物：麦、大麦が100%。次いで甜菜、馬鈴薯が約9割の作付。畑作3品を主体とし、大麦の生産も作付100%。

道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前の平年収量と事業整備後の平均収量及び収量が減少した場合の要因

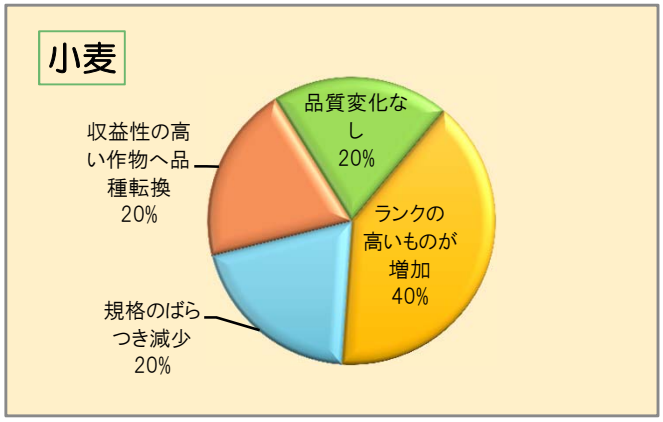


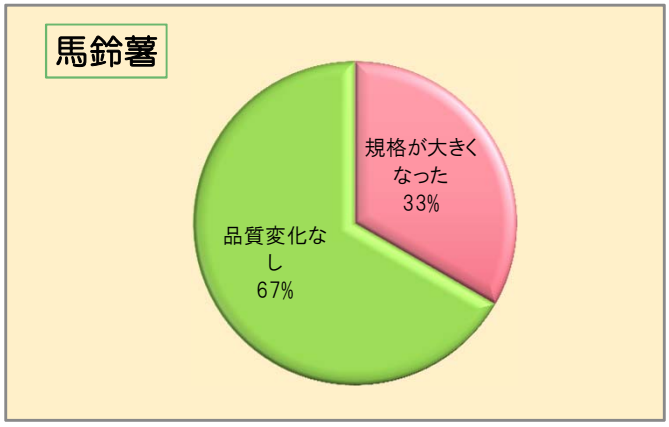


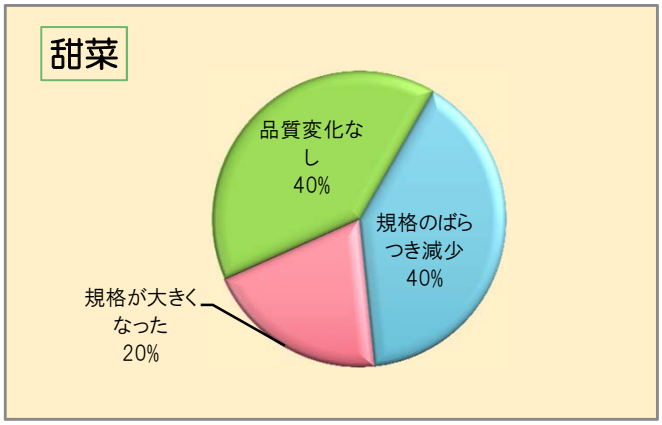
■収量は、小麦、大麦、馬鈴薯、豆類で収量増加。
■甜菜、その他作物（わさび）が減収。

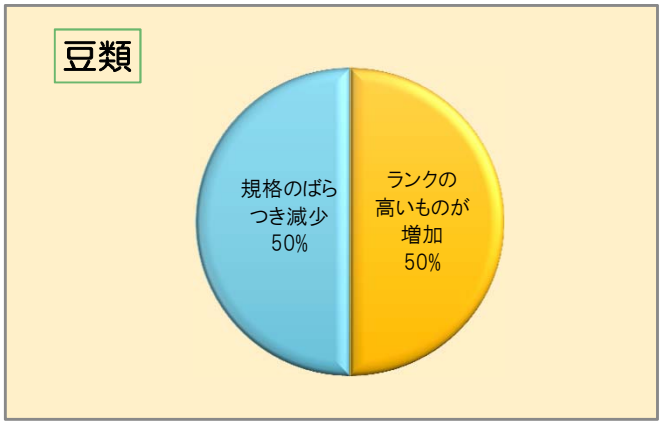
【気象要因減少理由】
・高温で多雨のため病気が発生しやすかった。
・大雨、雹害。
・ここ2，3年は雨が多すぎて湿害気味。

■２　品質変化：事業整備後の品質変化









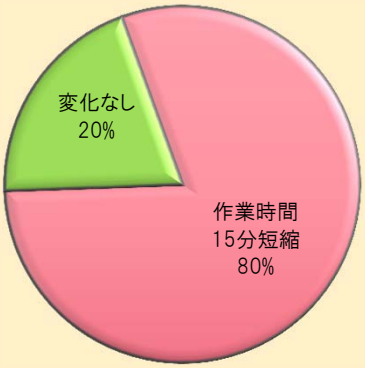
■小麦：約８割が品質の改善効果あり。　■馬鈴薯：約３割が品質改善効果あり。
■豆類：１００％品質改善効果あり。　■甜菜：約６割が品質の改善効果あり。
■その他（わさび）：ランクの高いものが増加。収穫作業が楽になった。

道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

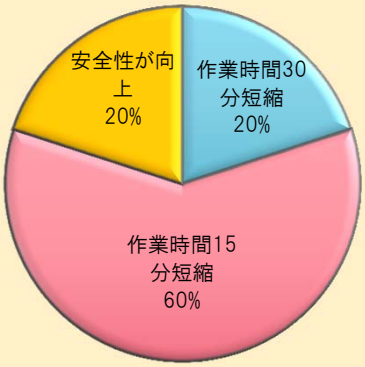
■３　営農効率：事業整備後の営農効率の変化とその要因

①営農効率変化
（※1時間当たりの軽減時間）

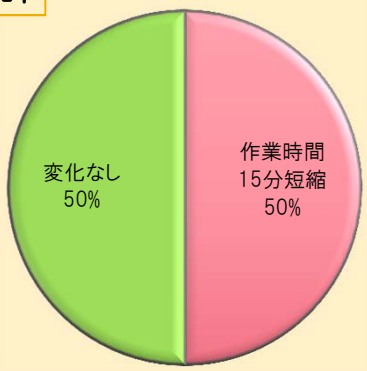
暗渠



客土



心土破砕



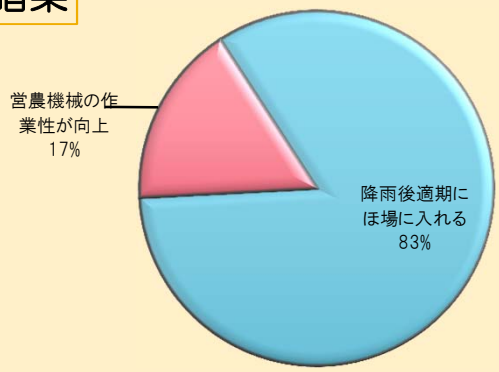
■暗渠：約8割が75%作業時間軽減.

■客土：約8割が作業時間軽減。

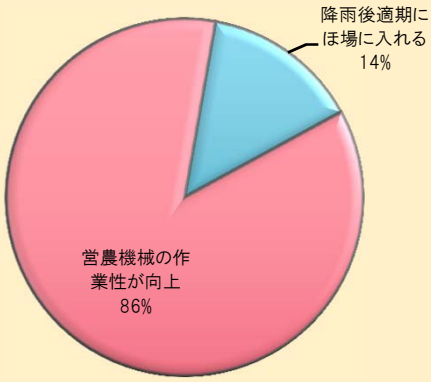
■心土破砕：約5割が作業時間軽減。

②営農効率向上の要因

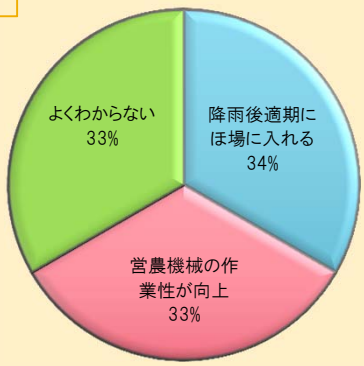
暗渠



客土



心土破砕



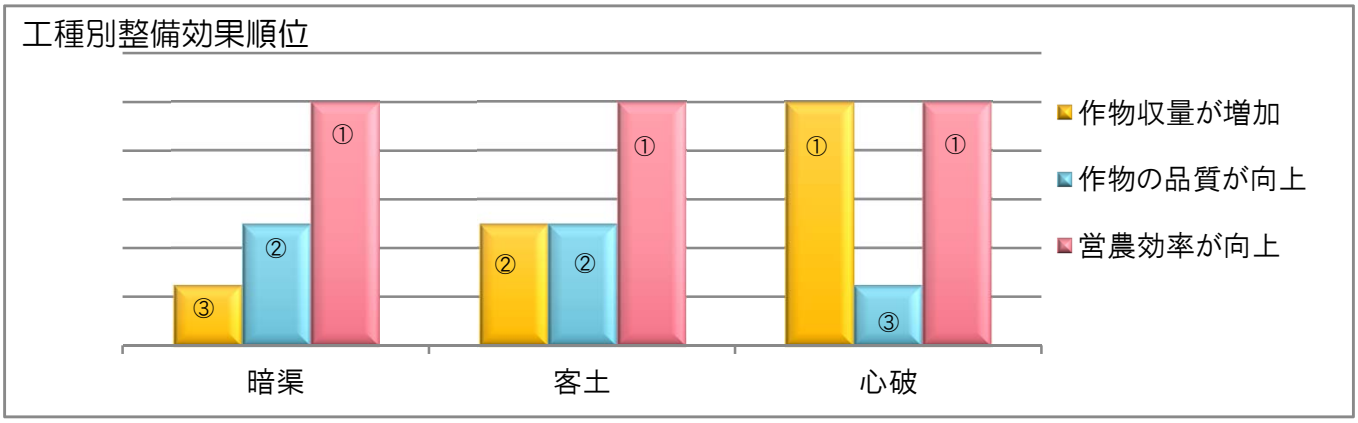
■暗渠：降雨後適期ほ場が約8割。

■客土：営農作業性の向上が約9割。

■心土破砕：営農作業、降雨後適期ほ場とも約3割。

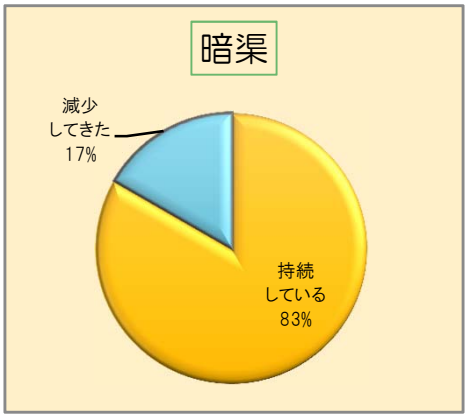
道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

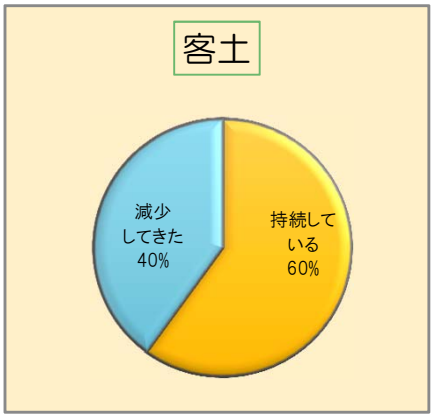
■４　整備効果：効果のもっとも高かった順位。

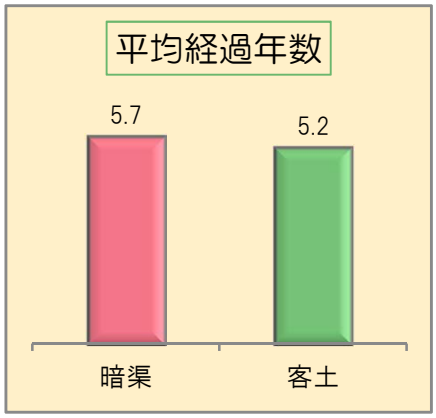


暗渠、客土、心土破砕とも営農効率の改善が一番効果が高かったと評価。

■５　事業効果持続：整備経過年数と効果の状況。



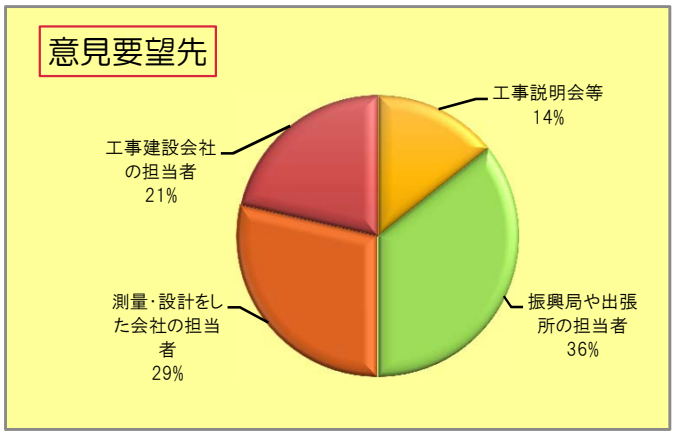




【減少理由】
■暗渠：大型機械での踏圧により、心土破砕を毎年しないと効果が減少。
■客土：10年経過すると土と混ざり客土がなくなってきた。

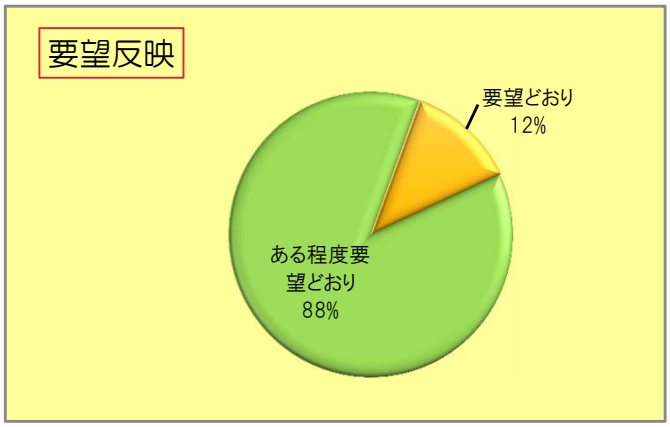
Ⅲ　工事内容

■１　工事に関しての意見要望先



■意見要望先の約4割が出張所担当者との回答。

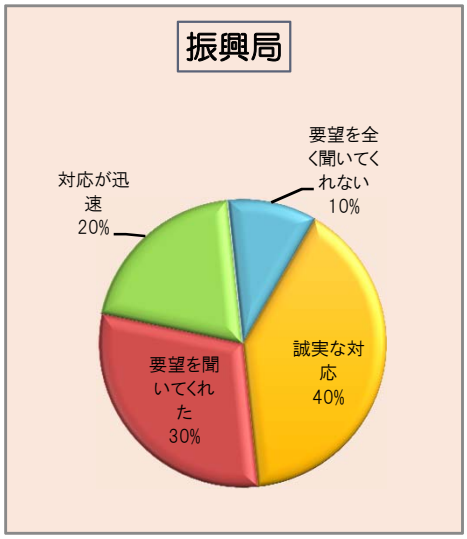
■２　工事への要望反映状況

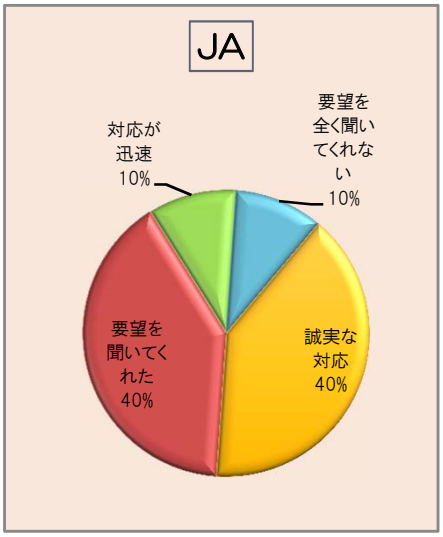


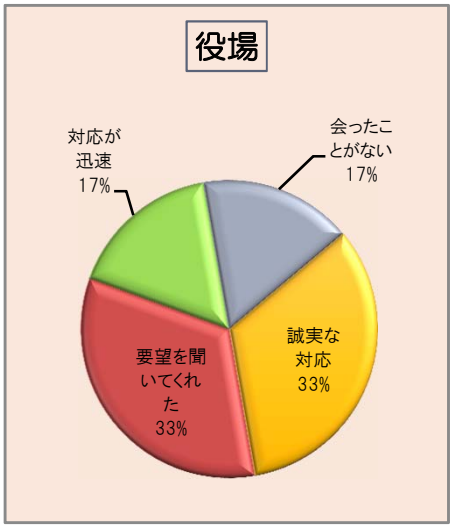
■要望の反映度としては100%との回答。

道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

■３　所属担当者の対応状況







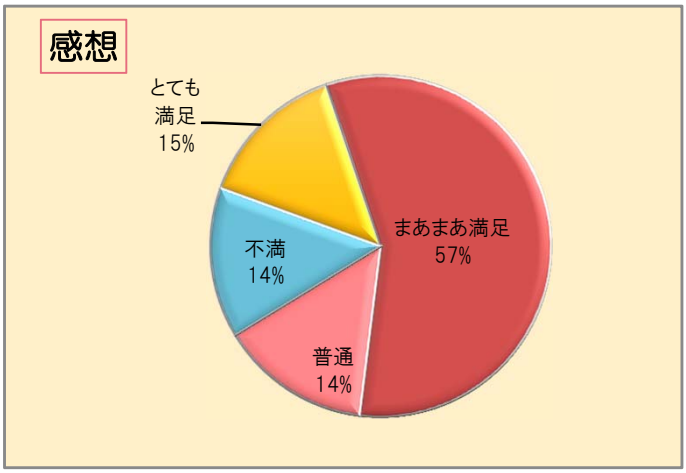
■振興局･JA･役場とも対応について高い評価。

■4　工事監督員対応評価

【良かった点】
- ･予定より遅れたが完了したこと。
- ･誠実な対応であった。

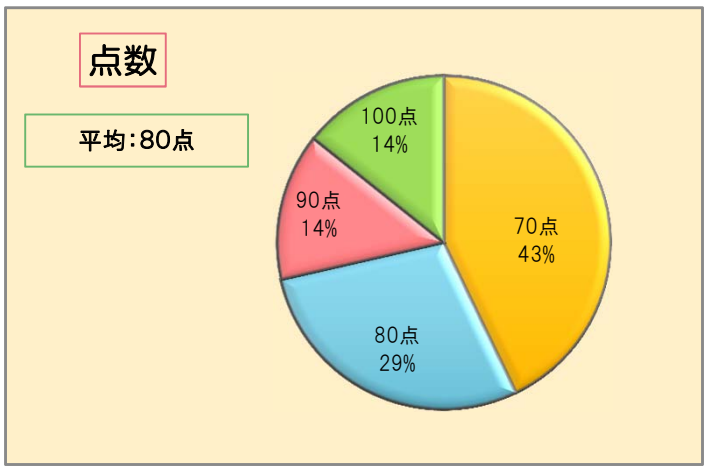
【悪かった点】
- ･土地条件に合った事業緩和の説明がほしい。
- ･火山灰が不足することとなり、砂を混ぜたサンプルとかけ離れた土になり、工事が2年空白となった。

■５　工事の感想



■約7割満足との回答。

■６　事業全体評価点数



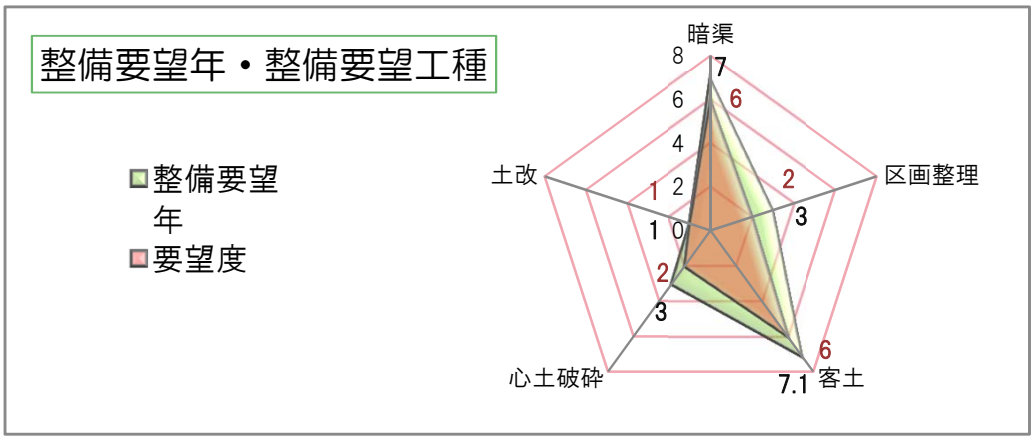
■平均点は80点評価を受けているものの、評価全体は50％程度。今後の事業実施に向けての課題あり。

道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

■１　今後の事業参加

■２　整備要望・整備要望年



■今後の事業参加：100%参加要望。

■整備要望工種：暗渠、客土が6ポイントと整備要望が高い。区画整理、心土破砕が2ポイント。

■整備要望年：暗渠、客土とも平均7年後。区画整理、心土破砕は平均3年の後の整備を要望。

■３　今後、農業を持続していく上での課題

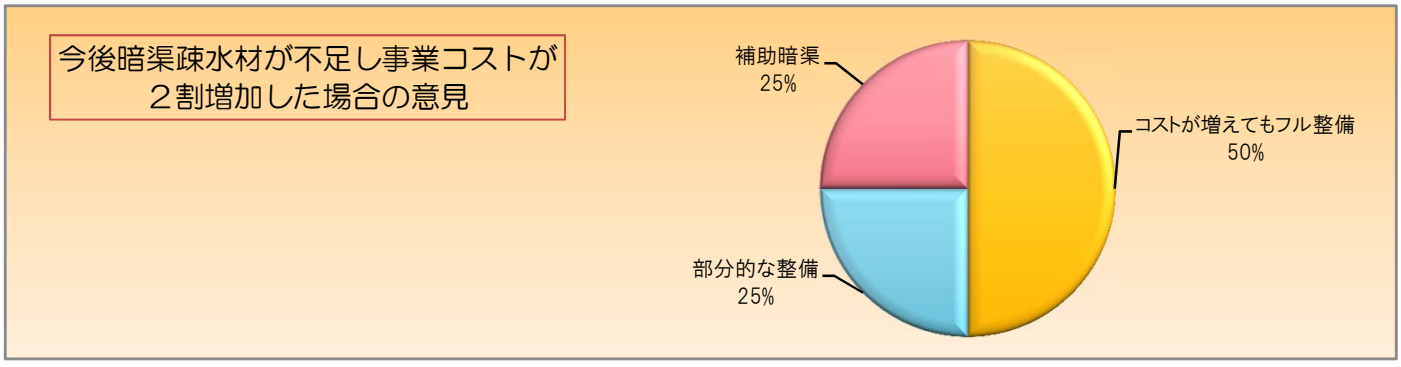
①営農で一番困っている課題

・一部のほ場の湧水で困っている。
・近年の大雨による土砂の流出等、畑の保全対策、排水対策。
・土質的に暗渠、客土、心破などは必要。
・トラクターなど農機具の更新。
・暗渠排水が不可欠なので、パワーアップ事業の継続を希望。
・昨年のような降雨災害でも農作業機械が入れるようにしてほしい。

②基盤整備による改善

・暗渠排水で間隔を狭く入れると良いと思う。
・基盤整備による事業はない。明渠や土管等、又、法面強化などの事業はないため。
・事業費を下げる。

■４　今後の暗渠整備要望



道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

■５　今後の基盤整要望

・暗渠の深さは70～80cmにしてほしい。

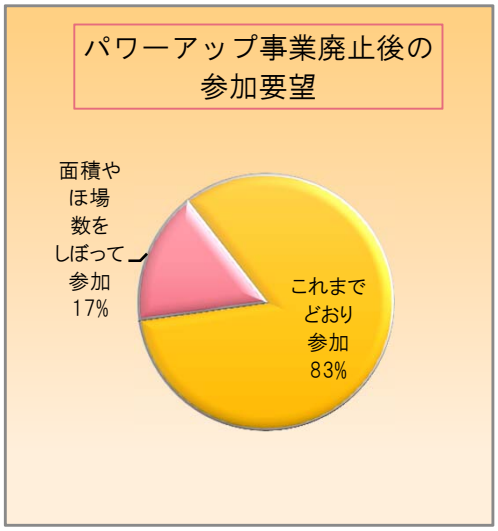
・暗渠の深さが前の事業より浅くなったので心土破砕の深さを浅くしないとぬかったときに暗渠を壊す恐れがある。

・暗渠が浅いので深い施工が良い。心破に引っかかる。

・現在の深さは浅いと思う。少し深くしてほしい。

・事業費が増えても暗渠を深くしてほしい。

■６　パワーアップ事業参加



【パワーアップ事業に関する要望】

・まだ利益が低くパワーアップ事業を続けてほしい。

・粘土地帯での経営は土地改良事業が大事であり、大変ありがたいです。長く継続する事業にしてほしいです。

・補助率が高いもので継続してほしい。

・できればパワーアップ事業をやってほしい。

・軽減された負担金を希望する。

■７　全体をとおしての意見要望

・畑内の道路用地に暗渠など入れてほしい。

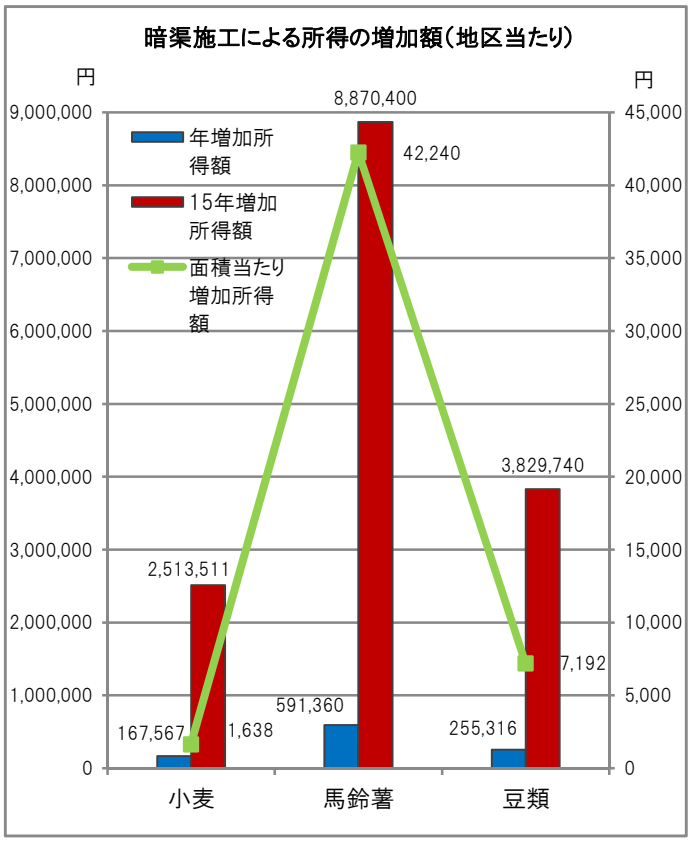
・土地改良は長期で考える事業で国土を整備していると思います。受益者負担をなくす方向にしてください。

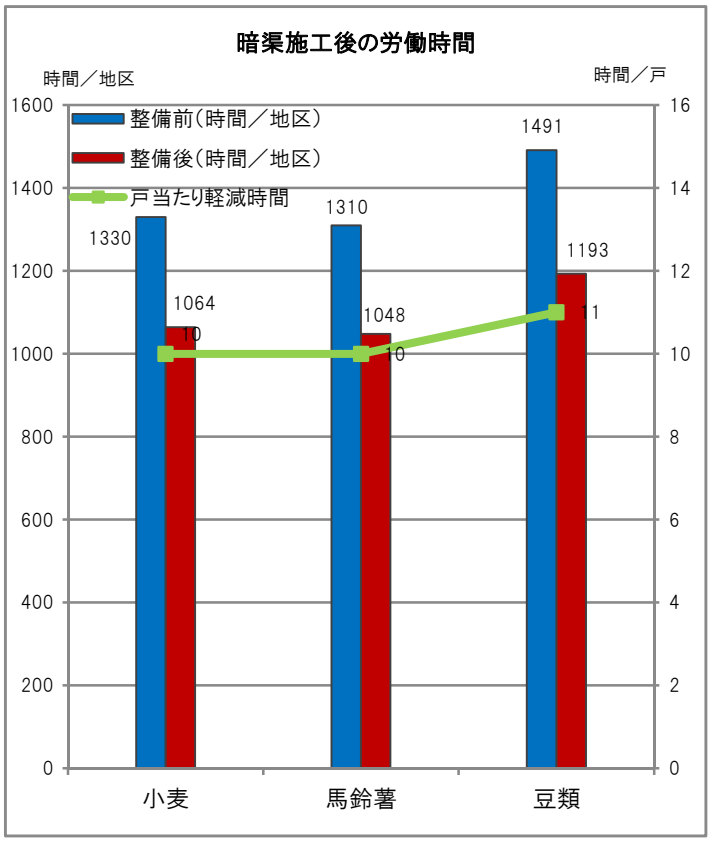
・トウモロコシの俵を収穫し、副産物は畑に戻す（連作、シストセンチュウ防止。第3，4の作物）。

・先行きの事業内容、負担金の軽減を早く知りたい。

道営畑総事業　東網走地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

＜参考＞





作物	暗渠受益面積		平均増収量	販売価格	所得率	面積当たり増加所得額	年増加所得額		総労働時間	
	作付率 (%)	作付面積(a) ① (ha)	② (kg/10a)	③ (円/kg)	④	⑤=②×③×④ (円/ha)	地区当たり ⑥=①×⑤ (円/地区)	戸当たり ⑦=⑥/27戸 (円/戸)	整備前 (時間/地区)	整備後 (時間/地区)
小麦	44.6%	102.3ha	20	21	0.39	1,638	167,567	6,206	1,330	1,064
馬鈴薯	6.1%	14.0ha	160	60	0.44	42,240	591,360	21,902	1,310	1,048
豆類	15.5%	35.5ha	20	62	0.58	7,192	255,316	9,456	1,491	1,193
計							1,014,243	37,565	4,131	3,305

■暗渠受益面積：作物別の作付面積は地区の平均作付率により算出。
■面積当たり増加所得額：作物別の平均増収量、販売価格、所得率により算出。
■年増加所得額：暗渠排水の施工により増加する地区全体の所得額。暗渠受益面積と面積当たり増加所得額により算出。
■15年増加所得額：暗渠機能効果が15年持続した場合の増加所得額で、年増加所得額を15倍して算出。
※販売価格：小麦は秋まき小麦、馬鈴薯は食用馬鈴薯、豆類は大豆の販売価格を適用。
■総労働時間
・整備前：畑・野菜複合経営30haモデルの総労働時間「2,189時間」を基に作物別のha当たり労働時間を算出し、これと暗渠受益面積により整備前の総労働時間を算出。
・整備後：「営農の効率変化」アンケート結果により、整備前の労働時間を8割25%軽減させて算出。
・戸当たり軽減時間：整備前と整備後の労働時間の差を地区の受益戸数「27戸」で除して算出。
（販売価格等はJA地域農業振興計画から引用）